

作成日 1997年 5月 1日

改訂日 2023年 4月 1日

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	電解液 S-103		
会社名	株式会社 中央製作所		
住 所	名古屋市瑞穂区内浜町24番1号		
担当部署	研究開発部		
電話番号	052-821-6196	F A X	052-823-2796
整理番号	S - 1 0 3		

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性

引火性液体	: 区分外
自然発火性液体	: 区分外
自己発熱性化学品	: 区分外
酸化性液体	: 区分外
金属腐食性物質	: 区分外

健康に対する有害性

急性毒性（経口）	: 区分 5
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	: 区分 2 B
特定標的臓器/全身毒性（反復暴露）	: 区分外

環境に対する有害性

水生環境有害性 短期（急性）	: 区分外
水生環境有害性 長期（慢性）	: 区分外

注意喚起語	: 警告
危険有害性情報	: 飲み込むと有害のおそれ 眼刺激 強い眼刺激

注意書き

救急処置	: 飲み込んだ場合：口をすすぐ。気分が悪いときは、医師の処置を受ける。 眼に入った場合：流水で数分間洗い流す。医師の処置を受ける。 取り扱った後、手を洗う。
------	--

3. 組成, 成分情報

単一製品・混合物の区別	混合物		
化学名（又は一般名）	塩化カリウム硫酸ナトリウム水溶液		
成分及び含有量	塩化カリウム 6%	硫酸ナトリウム 2%	水 92%
化学特性（化学式）	KCl	Na ₂ SO ₄	H ₂ O
官報公示整理番号	1-222（化審法）	1-501（化審法）	
C A S No.	7447-40-7	7757-82-6	

4. 応急措置

皮膚に付着した場合：水で洗う。
眼に入った場合：直ちに多量の水で洗い流す。
飲み込んだ場合：直ちに多量の水を飲ませる。

5. 火災時の措置：不燃性である。

消火剤：何でも可。
使ってはならない消火剤：無し
特定の消火方法：水
消火を行う者の保護（保護具等）：防火用保護具

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項：必要に応じて保護めがね，手袋を着用する。
環境に対する注意事項：特に無し。
除去方法：水で希釈する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い：眼，皮膚に触れたままにしない。
保管：容器（ポリエチレン）を密封し，直射日光を避けて保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策：直射日光を避ける。
管理濃度：設定されていない。
許容濃度：日本産業衛生学会 設定されていない。
ACGIH 設定されていない。
保護具
手の保護具：必要ならば手袋
眼の保護具：必要ならば保護めがね

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态
形状：液体
色：無色透明
臭い：無し
pH：6.5～7.5
物理的状态が変化する特定の温度／温度範囲
沸点：約 100℃
引火点：無し 発火点：無し
密度：1.09
溶媒の溶解性：無し。

10. 安定性及び反応性

安定性：通常の使用においては安定である。
反応性：無し
避けるべき条件：日光，熱

11. 有害性情報

急性毒性：飲み込むと有害のおそれ
多量に経口摂取すると消化器が刺激され，嘔吐，血圧上昇，循環

器系の障害を起こすことがある。

ラット 経口 LD50 = 3020 mg/kg

モルモット 経口 LD50 = 2500 mg/kg

皮膚腐食性・刺激性 : データ無し

眼に対する重篤な損傷・刺激性

: 眼に対して刺激性がある。

ウサギの試験で、適用 24 時間後の監察で“mild reaction”と評価されている。

呼吸器感作性又は皮膚感作性 : データ無し

生殖細胞変異原性 : データ無し

発がん性 : IARC および NTP のリストに記載されていない。

生殖毒性 : 妊娠ラットおよびマウスの器官形成期に経口投与した試験で仔の発生に悪影響は認められないが、親植物の性機能または生殖能に関してはデータ不足のため分類できない。

特定標的臓器・全身毒性－単回暴露

: データ無し

特定標的臓器・全身毒性－反復暴露

: ラット雄の 2 年間経口投与試験で、唯一の影響は、刺激性としての胃炎のみで NOAEL は 1820mg/kg/day。また、ラット雌の 5250 mg/kg/day を 105 日間経口投与した試験での影響はすべて回復性であり、重大な毒性影響はない。

吸引性呼吸器有害性 : データ無し

12. 環境影響情報

魚毒性 : 甲殻類 (オオミジンコ) LC50/48H = 660mg/L

残留性/分解性 : データ無し

13. 廃棄上の注意 : 水で希釈する。

測定後の液 : アルカリ (10%水酸化ナトリウム等) で中和して、亜鉛を沈殿させた後、水で希釈(亜鉛めっき膜が 80 μ m の時に 80 倍以上)して排出する。

排水処理装置がある場合は、酸アルカリ系に排出する。

未使用液 : 水で希釈(10 倍以上)して排出する。

排水処理装置がある場合は、酸アルカリ系に排出する。

空容器は内容物を水洗いした後、産業廃棄物業者に廃棄を委託する。

14. 輸送上の注意 : 直射日光を避け、容器の漏れのないことを確め、落下、転倒、損傷がないように積込み、荷くずれ防止を確実に行う。

国際規制 : 無し。

国連分類 : 無し。

国内規制 : 無し。

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法 : 非該当

労働安全衛生法 : 非該当

化学物質排出把握管理 :

促進法(PRTR 法)

16. その他の情報

引用文献

① 化学大辞典 共立出版社 (1963)

② **Dangerous Properties of Industrial Materials, 6th ed N. I. Sax 他編**
Van Nostrand Reinhold Company(1984)

- * この製品安全データシートは、各種の文献などに基づいて作成していますが、必ずしもすべての情報を網羅しているものではありませんので、取り扱いには充分注意してください。
また、含有量、物理／化学的性質、危険有害性などの記載内容は、情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。
なお、注意事項は通常の手扱いを対象としたものであり、特殊な取り扱いをする場合には、その用途・用法に適した安全対策を実施してください。